

議事録

令和7年度 第6回

由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

日付: 令和8年3月16日

時刻: 午後2時00分～午後2時53分

場所: 由利本荘市文化交流館カダーレ「ギャラリー」

出席者: 委員 : 20名(36名中) ※代理出席含む
随行者: 1名
事務局: 11名

※詳細は別紙のとおり

1 開会

2 あいさつ

会長 由利本荘市長 湊 貴信

本市の地域公共交通は、人口減少による利用者減少や運転士不足により、維持が困難な状況にある。このため、市では新たな公共交通システムの導入を目指し、令和7年12月から本荘地域市街地でAIオンデマンド交通実証運行事業「ゆりほんのれツタ」を実施し、利便性向上の可能性を検証したところである。

本日の主な案件は、分科会で評価・検証を行った地域公共交通計画に基づく事業の実施状況および評価結果の報告となる。皆様からご意見をいただきながら、有意義な会議としたいので、よろしく願いたい。

3 協議

議案第1号 由利本荘市地域公共交通計画の実施事業の検証について
原案の通り承認

4 報告事項

由利本荘市 AI オンデマンド交通実証運行事業 令和7年度 実績報告について

Q 1. 予約が取れないというのは需要を満たせてるのか？

A 1. 配車希望時間での配車ができない場合、システム側から代替の配車可能時間が提示されるが、最終的に予約されない場合は、システムに予約不成立だったことは残らない。システム上予約が取れない状況は確認できないが、アンケートからはそういうケースがあるのは確認してるため、「今すぐ乗りたい」といった方の需要を満たせていない場合もあったと考える。

Q 2. 2 2 2 箇所の乗降箇所は適正？ 今後どういう基準で変えていくのか？

A 2. 2 5 0 mメッシュの中に乗降スポットを必ず 1 つは配置しているため、利便性が高いと認識している。今後スポットを移動させることはあっても、2 2 2 箇所の乗降場所は減らすつもりはない。

Q 3. 2 2 2 箇所の内、使われてない乗降場所は何箇所くらいあったのか？ 使われてない箇所の検証をすすめたほうがいい。

A 3. 使われていない箇所のデータは今持ち合わせていないが、検証していきたいと考える。

Q 4. 令和 8 年度の実証運行時の循環バス減便は、やり方が乱暴ではないか？ 今回の検証で文句は出なかったのか？

A 4. 循環バスの維持が難しいため、代替交通として「ゆりほん のれцца」を導入することを検討し、実証運行を行っている。導入の効果検証のためには、本格運行時を見据えた実証を行う必要があると考えているので、令和 8 年度に「循環バス」を減便し、本格運行に近い状態で実証運行を行いたい。また、文句と言えるか分からないが、「継続して運行して欲しい」という声が多かった。

Q 5. 高齢者はスマホが使えないので「のれцца」は利用しづらい、循環バスを継続して欲しい。

A 5. 実証運行を通じてどのような移行がいいのか検証していく。

Q 6. 路線バスへの影響はあったのだろうか？ 1 0 代の利用が多かったということであるが、高校生の料金を割安にするなど検討してもよいのではないかと？

A 6. 路線バスへの影響は資料の 1 7 ページに掲載している。料金が安ければ良いのは理解しているが、持続性を考えると、必要な負担はしていただかなくてはいけないとも考えている。

4 その他

特になし

5 閉会